



池田小だより

7月号 No. 4

新座市立池田小学校 令和5年6月30日(金)

学校のキャッチフレーズ

「やる気・ゆう気・げん気あふれる学校 池田小」

学校生活・心の基本をつくる

校長 鶴田 千尋

1学期も残り3週間になりました。先月は個人面談の実施に御協力いただきありがとうございました。子供たち一人一人について多くのお話をいただき貴重な情報共有の機会になりました。引き続き指導に活かしてまいります。

さて、学校では7月は、学期末を控えたまとめに向かう時期です。1学期に残っている単元の実施、生活指導や体力向上など個別の課題についてもうひとがんばりすることになります。最後まで気を抜かず取り組んでいきたいものです。

不協和音

5年生の音楽の学習に「和音」があります。二つ以上の高さの異なる音が同時に鳴るときの合成音の響きとして、四つを学習します。和音の使い方によって曲の雰囲気が大きく変化し、明るく楽しいとか暗くさみしい等のように曲調に影響を与えます。一方で、「不協和音」という言葉があります。互いに譲ることなく協調しないことのたとえになる言葉ですが、元来は音楽用語で、「(協)和音との区別は音の振動数の比による」という難しく、又、曖昧なものようです。

しかし、私たちは、和音というと美しい音の響きを指し、不協和音は美しくないものではないかというイメージを持ってしまうがちです。ところが、実際は音に緊張感を与え上手く使うことで効果的なものとする事ができる、人によっては美しいと感じられるとも言われています。

学校・学級生活においては、様々な子供たちがそれぞれの個性を発揮して生活して

います。すると、多くの子供たちが集まることで時には不協和音が聞かれることもあります。しかし、学校は、一人一人の個性を認め、十分に考え、まとめ上げていくことが大切と考えて指導にあたっています。気の合った友達同士だけでなく、なるべく多くの友達と交流し、様々な経験を積んで成長して欲しいと願っています。

あいさつをしましょう

朝、校門で挨拶をしていると、登校してくるたくさんの子供たちが挨拶をしてくれます。会釈をしてくれる子もいます。

教室や廊下でも、「おはようございます」「こんにちは」という挨拶がよく聞こえてきます。挨拶の大切さはいろいろありますが、その中で特に大切なのは、人との関係をよくするということがあります。挨拶には「自分の心を開いて相手と接する」という意味があります。心を開いて自分から挨拶できるようになると、人間関係も良くなるのではないのでしょうか。

* * * * *

保護者の皆様には、学校の安心・安全のため、来校の際に以下の2点をお願いいたします。

① PTAより配付された名札を着けること。

② 必ず職員室に声を掛けていただき、来意を告げること。名札のない方は来校者用の名札を受け取ること。

併せて、名札を着けていない来校者には声掛けをさせていただいておりますので御承知おきください。



池田小創立50周年記念
キャラクター「いけぼん」

新座市立池田小学校

〒352-0015 新座市池田4-8-49 (HP) <http://www.c-niiza.ed.jp/e-ikeda>

